

取組1 市民の納得と共感

[推進項目① 市民との情報受発信と対話の促進]

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定	
1	①	市長室	市政だより多メディア化の検討 市政だよりに掲載された情報を、多様なメディアで効果的に発信する手法について、市民アンケートを行い、その結果をもとに検討を行います。	市政だよりの情報を紙以外で情報提供することについてアンケート調査を実施したところ、そのニーズが高いことが判明しました。	平成25年度のアンケート結果を踏まえ、紙以外での情報提供の方法等について検討を行います。	
			実施スケジュール			
			アンケートの実施		実施	実施
			市政だより多メディア化の検討		調査・検討	調査・検討

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	①	市長室	職員の広聴マインド向上 職員の広聴マインド向上のために、職員を対象とした研修を実施します。 また、市民から寄せられた声の内容や統計を「市民の声だより」として、年4回程度、庁内LAN掲示板に掲載します。	市民の声を真摯に受け止め、市民と行政が良好な関係を築いていくために、職員を対象とした「広聴マインド研修」を、平成25年11月28日に実施しました。 また、広聴課で受け付けた市民からのご意見の中から、職員の参考となるものの紹介や、局別の統計、直近の件数が多い内容などを掲載した「市民の声だより」を2ヶ月に1度発行。全庁OAの掲示板に掲載しました。	今後も引き続き、「広聴マインド研修」の実施、「市民の声だより」の発行等を継続し、職員の広聴マインドの向上を図ります。					
					実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
					広聴マインド研修			実施	実施	
					市民の声だよりの作成			実施	実施	
					指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
					市民からの苦情や要望に対して、改善を続けていると思う職員の割合【職員意識調査】		35.5%	40%	45%	40%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	①	市長室	広報効果の調査・分析・活用 広報効果の調査、分析を行うとともに、ノウハウの蓄積を図り、さらなる効率的・効果的な広報を行います。	市民の市政に関する広報満足度調査を実施しました。	平成25年度のアンケート結果を踏まえ、市の広報に関する満足度の向上に取り組めます。					
					実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
					広報効果の調査・分析			再構築・実施	再構築・実施	
					指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
					市の情報発信に対する満足度		28.4%	40%	55%	30.1%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定		
1	①	総務企画局	オープンデータの活用推進 市民生活の利便性向上や企業活動の活性化を図るため、市が保有する統計情報等を利用できるように公開する「オープンデータ」について、公開方法や個人情報保護等の課題整理を行うとともに、活用推進の方向性を検討し、活用事例の創出に取り組みます。 ○活用アイデアのコンテスト開催 ○活用の可能性に関するシンポジウム開催	オープンデータの活用推進のため、下記のとおり取り組みを行いました。 ○平成25年4月1日に千葉市・奈良市・武雄市と共同で「ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会」を発足させ、11月にアイデアコンテストとシンポジウムを開催。 ○オープンデータにかかる調査・検討支援業務 個人情報保護やデータ形式・公開方法などの諸課題を整理し、福岡市としての活用推進の方向性を検討。 ○Webマップ(地図を基盤とした地域情報システム)を活用し地域情報を市民に提供。 ○ビッグデータ・オープンデータ研究会in九州の立ち上げ。	活用事例創出のため、下記のとおり取り組みを行います。 ○活用アイデアの発掘・具体化 「ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会」において、活用アイデアやアプリのコンテスト等を開催。 ○オープンデータサイトの構築 ○ビッグデータ・オープンデータ研究会in九州(BODIK)において、産学官が連携し、データの提供方法を検討。		
				実施スケジュール		25年度予定	25年度実績
				アプリコンテスト・シンポジウムの開催オープンデータ推進に関する調査検討	開催・検討	開催・検討	
				活用事例の創出	検討	検討	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定		
1	①	総務企画局	市政運営会議の積極的な情報提供 市では市政運営の基本方針及び重要施策に関する事項を審議し、方針決定を行う場として市長・副市長等をメンバーとした市政運営会議を設置しています。 この市政運営会議による議事の内容をこれまで以上に分かりやすく、市公式ホームページに公表します。	市政運営会議における、配付資料の公表、発言内容の公開、発言者の明記など分かりやすい情報提供を実施しました。	継続して実施します。		
				実施スケジュール		25年度予定	25年度実績
				ホームページへの掲載	見直し・実施	見直し・実施	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定							
1	①	総務企画局	附属機関等の会議の公開	<p>附属機関等の会議の開催日時、場所、議題等の情報について、会議開催の2週間前までに情報公開室へ連絡することとし、適時市ホームページに掲載しました。</p> <p>また、会議の議事録等を市ホームページに掲載していない附属機関等所管課に対して、掲載を促し、前年度に比べ公開状況は改善しました。</p>	<p>引き続き、会議の議事録等を市ホームページに掲載していない附属機関等所管課に対して、掲載を促す通知文を送付するなど、啓発に努めます。</p>							
			附属機関等の会議の開催日時、場所、議題等の情報を集約し、ホームページに掲載します。また、会議の議事録、配布資料等を市民が容易に入手できるよう、ホームページへの掲載の促進を図ります。									
			実施スケジュール						25年度予定	25年度実績		
			会議開催情報のホームページへの掲載						実施	実施		
			会議の議事録等のホームページへの掲載						実施	実施		
		指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値						
		会議の議事録等をホームページに掲載している附属機関等の割合 ※公民館運営懇話会は除く	60%	70%	80%	66%						

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定			
1	①	総務企画局	公文書管理制度の検証・見直し	<p>公文書管理制度の検証・見直しを実施するため、課題を、「短期的に検討・実施すべき事項」、「中期的に検討すべき事項」に整理の上、短期的課題については一部実施しました。</p> <p>「短期的に検討・実施すべき事項」のうち、特に公文書の適正な作成・保存及び文書管理システムの活用等については、「文書事務マニュアル(4種)」作成するとともに職員に周知を行い、改善に努めています。</p>	<p>引き続き、公文書管理制度の検証・見直しを行うため、「短期的に検討・実施すべき事項」について、課題解決を行うとともに、「中期的に検討すべき事項」についても、公文書管理法の改正等、国の動向も踏まえながら課題解決に向けた対応を実施します。</p> <p>また、平成26年度から「文書事務マニュアル」を活用した文書事務研修を、新規採用職員研修等で実施し、公文書管理の適正化・効率化を図っています。</p>			
			文書事務のあり方については、公文書の適正な作成・保存・利用を確保しつつ、事務の簡素化及び文書管理システムの活用を進め、効率化を図るとともに、公文書管理法の趣旨を踏まえ、公文書管理制度の検証・見直しを行います。					
			実施スケジュール					
		公文書管理制度の検証・見直し	実施	実施				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況		26年度以降の取組予定	
1	①	財政局	<p>市民目線の情報発信の推進</p> <p>現在、財政局においては、福岡市ホームページ、市政だより、パンフレットなど様々な情報媒体を活用して情報発信していますが、受信者にとって、より使いやすく役に立つものとするため、次の取組を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政局内に職員で構成する委員会を設置し、福岡市ホームページなどに掲載している財政局の情報をより分かりやすくして、市民目線の情報発信を行います。 ・市民、事業者などのニーズにあった情報を発信するために、今までの広報媒体に加え、SNS(ソーシャルネットワークサービス)等の活用を検討します。 <p>・財政局から発信している情報についての利用者満足度(使いやすさ)の評価方法については、使いやすさ(見つけやすさ)を反映するとともに客観的な目安で把握もしやすいことからホームページのアクセス数を評価方法として用いることとしました。</p>	<p>・市の財政状況に関する内容をホームページ上で随時公開するとともに、「ふくおかしの家計簿」や「財政のあらまし」など、予算や決算の概要を分かりやすく説明する冊子を作成し、区役所などで配布しました。また、平成25年6月に策定した行財政改革プランの概要を分かりやすく説明するため、新たな取組みとして職員がマンガをボランティアで作成し、区役所などで配布しました。</p> <p>・平成25年8月の「ふくおか応援寄付」のリニューアルの際には、市民が分かりやすいように記念品等の画像を大きく取り上げるなど、リーフレットやホームページの内容や見せ方を工夫するとともに、市政だよりのほか、メールマガジン、フェイスブックといったSNSを活用してPRを行いました。</p> <p>・財政局内に職員で構成する委員会を設置し、福岡市ホームページの掲載内容を中心に検証作業を実施しました。</p>		<p>・引き続き、様々な情報媒体を通じた情報発信を行うとともに、より分かりやすいものになるよう、市民目線での内容の再構築や、表現方法の工夫に努めます。</p> <p>・「ふくおか応援寄付」のリーフレットやホームページの作成・更新にあたっては、内容や見せ方だけでなく寄付手続きの改善を図り、利用者にとってさらに分かりやすく使いやすいものとしていきます。</p> <p>・福岡市ホームページの掲載内容について各課の広報を担当する職員を交えた情報交換会などを検討し、ホームページ改善に向けての取組を行います。</p>	
				実施スケジュール		25年度予定	25年度実績
				局内委員会の設置		設置・運営	設置・運営
				評価方法の構築		構築・実施	構築・実施
				より分かりやすい情報の発信		検討・実施	検討・実施
				指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)
財政局ホームページ利用アクセス件数		-	1,700,000件	1,780,000件	1,660,000件		

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況		26年度以降の取組予定			
1	①	市民局	市民局業務改善プロジェクトチームの設置 「必要な情報」を「タイムリー」に「分かりやすく」伝えることを目指し、局のホームページや市政だより等を活用した情報発信の充実に取り組みます。 また、来庁される市民の方をスムーズに担当部署へ案内できるように、局内職員間の情報共有の徹底や、案内表示の工夫などを行います。 これらの実現に向け、局内で業務改善プロジェクトチームを設置し、情報発信や事務手続きの改善等について協議・検討を行うとともに、局独自の研修会等を通じて、職員全体の意識の共有やスキルの向上を図ります。	各部より3名ずつを応募し、プロジェクトチームを作成し、部会ごとに項目を検討し取り組みました。 局内で作成しているHPの情報更新の管理と、市のHPアクセス数NO.1の住民票等の情報ページより分かりやすい表示になるように検討を重ねました。		文書事務の効率的な運用を図るため、全庁OAの局掲示板、文書管理システムを用いた電子回覧や電子供覧、電子メール等の、それぞれの使い分けや活用ルールを局内で統一できないか検討します。 電子回覧(PDF化)の普及促進を検討します。 各課の課名掲示標(天井吊下げ)を検討します。			
								実施スケジュール	
				プロジェクトチームによる検討と取組の推進		検討・実施	検討・実施		
				情報発信の充実		検討・実施	検討・実施		
				来庁者案内の充実		検討・実施	検討		
				指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				業務改善に向けた取組の累積件数		-	5件以上	10件以上	4件

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況			26年度以降の取組予定		
1	①	こども未来局	子育て情報の受発信と共有 情報の受信・発信については、ツールの整理を行った上で、アクションプランを策定し、運用方法の改善を行う。 また、情報共有については、区役所も含めた情報共有手段の検討をした上で共有ツールの構築を行う。	≪全体的に≫ ・改革実行計画に取り組んでいくにあたって、負担感、やらされ感がないように、平成25年4月から10回に分けて研修を行い、課題の共有を行いました。 ①4/9管理職員研修19名②5/29係長研修A20名③6/14係長研修B20名④6/21係長研修C20名⑤7/2係員研修A25名⑥7/26係員研修B28名⑦8/8係員研修C28名⑧8/20キックオフ研修A『こ未来キャストコレクション』⑨8/28キックオフ研修B『こ未来相談箱』⑩8/29キックオフ研修C『ちょこイベント』 ・改革実行計画の項目で、取り組みやすいものから3段階に分けて実施していくこととしており、8月から第1段階として『こ未来キャストコレクション』、『こ未来相談箱』、『ちょこイベント』の3つについて検討など行いました。 ・局の共有フォルダを作成し、各課のスケジュールが閲覧できるようにしました。			・情報の受信、発信、共有については、平成26年度前半にワーキンググループを編成し、『子ども情報』などの情報ツールの整理を行い、運用方法の改善を検討します。以降、平成27年度にかけて区役所も含めた情報共有システムの構築に取り組みます。		
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
				情報発信	ツール整理 運用方法整理	検討			
				情報受信(ニーズの把握)	ツール整理 構築	検討			
				情報共有	検討	検討			
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値	
				情報ツールの反応指数(フェイスブック、ホームページなどの反応数)	-	50%	100%	0%	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定			
1	①	保健福祉局	保健福祉施策情報受発信機能の強化	保健福祉局だよりの発刊および市民との対話重視については、それぞれ局内でプロジェクトチームを立ちあげ、広報物については、内容及び紙面構成の検討を実施し、市民との対話重視については、局のフロアマップを作成する等、市民の方に対しての案内の満足度向上のための内容の検討を行いました。	保健福祉局だよりの発刊については、9月の市政だよりにあわせ発刊予定であるため、今後編集委員会ですらに内容を検討する予定です。市民との対話重視については、来庁者の多い業務を所管する部署がすぐわかるよう局のフロアマップとともに作成し掲示しました。			
			超高齢社会を迎えるにあたり、保健・医療・福祉などの各種制度がますます複雑化・多様化しています。このため、市民が自らよりよい各種サービスを選択できるように、一元的に相談窓口が分かる広報物を発刊するなど必要な情報を必要なときに分かりやすく得られる仕組みを充実させる必要があります。また、市民の話を聴く姿勢を持つことの重要性を再認識し市民との対話重視の精神を徹底するため、市民対応のマニュアルを作成します。					
			※指標については、数値の表し方に関する考え方を変更したため、現状値及び目標値を再設定しています。	実施スケジュール			25年度予定	25年度実績
			保健福祉局だよりの発刊(広報物の統一等)	検討	検討			
			市民との対話重視(市民対応の局マニュアルの作成)	検討	検討			
			指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値	
			市民が保健・福祉・医療に関する情報提供や案内に満足している割合	25.1%	35.0%	40.0%	33.5%	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	①	環境局	市民への効果的な情報発信や市民ニーズの共有等に関する取組 広報PRに関する局内の横断的な情報交換の場（広報関係連絡会議）を活用し、市民への効果的な情報発信や市民ニーズの把握などについて、情報共有・意見交換を行います。 <内容> ・局内の広報関係のスケジュールを共有し、連携可能な広報PRの調整や、広報先・ツールのより効果的な活用について意見交換を行います。 ・各施策について市民アンケート等の市民ニーズを確認できる取組みを実施した際には、当該結果を共有し、意見交換を行います。 ・出前講座や各種プレゼン資料を共有し、統一感をもったわかりやすい資料作成のための意見交換や研修を行います。 ・広報PRのスキルアップのための研修会を年2回程度実施します。	●広報に関する情報共有と効果的な情報発信 広報に関する情報交換の場として、「広報関係連絡会議」を月1回開催し、スケジュール確認や意見交換などを行いました（各部から2名程度参加）。内容については、参加者が各所属内で周知を図りました。 ●市民ニーズの共有 広報関係連絡会議を活用し、市民向けに実施したアンケート結果を共有し、意見交換を行いました。 ●広報PRスキルアップのための研修 （H26.1.21実施、23名参加）	引き続き、「広報関係連絡会議」を定期的開催し、市民への効果的な情報発信や市民ニーズの把握などについて、情報共有・意見交換を行うとともに、局全体での情報共有の徹底を図っていきます。また、研修などを通じて広報PRのスキルアップを図り、市民にわかりやすく効果的な情報発信を行います。					
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績		
				スケジュールの共有と効果的な広報PRについての意見交換			実施	実施		
				市民ニーズの把握に関する情報共有と意見交換			実施	実施		
				広報PRのスキルアップのための研修会			実施	実施		
				指標項目			現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				広報PRスキルアップ研修の実施(回/年)			—	2	3	1

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況		26年度以降の取組予定		
1	①	経済観光文化局	情報発信の充実	経済観光文化局所管のホームページで、産業、観光、文化、文化財などの情報を随時発信するとともに、市のホームページにおいても黒田官兵衛に関する情報など魅力ある最新情報を発信しました。		経済観光文化局所管のホームページで最新情報を発信していくほか、市のホームページやSNSを活用し、積極的に福岡市の魅力を発信していきます。		
			経済観光文化局所管のホームページに、産業、観光、文化、文化財情報などの最新情報をアップし、市民や福岡市への来訪者等へ積極的に情報提供していく。					
			実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
			ホームページによる情報発信			実施	実施	
			指標項目			現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)
経済観光文化局所管のホームページへのアクセス件数(回)			310,000	319,000	328,000	368,825		

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況		26年度以降の取組予定		
1	①	経済観光文化局	マーケティング調査等の実施と調査に基づく事業の実施	平成25年7月と12月に、福岡市内約30の企業、団体を訪問し直接聞き取りによる景気動向ヒアリング調査を実施しました。また、調査結果をホームページ上に掲載するとともに、施策の検討における参考資料のひとつとして利用しました。		各業界のニーズや課題を把握するための重要な調査であるため、今後も継続していきます。		
			地域住民や企業、関係者へ調査を実施し、ニーズや課題を把握する。 調査結果に基づき、地域住民等のニーズに応じたサービスの提供や支援を行う。					
			実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
			景気動向ヒアリング調査の実施			実施	実施	
			指標項目			現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)
景気動向ヒアリング調査回数(回)			2	2	2	2		

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定				
1	①	農林水産局	市民への情報発信 本市の農林水産業や農林水産局の取組みをPRするため、局ホームページの充実を図るとともに、各種イベント等の発信など積極的に活用します。また、長浜鮮魚市場のPRや魚食普及推進のため、長浜鮮魚市場ホームページやフェイスブックを情報受発信ツールとして活用します。 また、農林水産まつり、鮮魚市場市民感謝デーなど市民が参加できるイベントについても、引き続き実施してまいります。	・局ホームページ、長浜鮮魚市場ホームページ(H24.6月開設)へのアクセス件数は増加傾向にあります。特に、長浜鮮魚市場ホームページについては、平成25年度 68,614件となり、指標の最終目標値(H28)66,000件を既に達成しました。 ・イベントは、農林水産まつりを平成25年11月9日に、鮮魚市場市民感謝デーを毎月第2土曜日に開催しました。どちらのイベントも来場者数が多く、大いに盛り上がりました。	本市の農林水産業や農林水産局の取組みをPRするため、局ホームページの充実を図るとともに、各種イベント等の発信など積極的に活用します。また、長浜鮮魚市場のPRや魚食普及推進のため、長浜鮮魚市場ホームページやフェイスブックを情報受発信ツールとして活用します。 また、農林水産まつり、鮮魚市場市民感謝デーなど市民が参加できるイベントについても、引き続き実施してまいります。				
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
				局ホームページによる情報発信			実施	実施	
				長浜鮮魚市場ホームページによる情報発信			実施	実施	
				農林水産まつり等のイベントの実施			実施	実施	
				指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				局ホームページへのアクセス数(件)		312,000	327,000	343,000	382,275
長浜鮮魚市場ホームページへのアクセス数(件)		60,000 (年度換算)	63,000	66,000	68,614				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定						
1	①	住宅都市局	<p>広聴と対話の促進(まちなみのルールづくり制度についての出前講座の実施)</p> <p>建築協定等のまちなみのルールづくり制度について市民への周知を図るため、出前講座「みんなでつくるまちなみのルール～良好な住環境を目指して～」について積極的に周知し、実施します。</p> <p>〈取り組み内容〉</p> <p>(1)ルールづくり制度及び出前講座の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築紛争が予想される地区については、自治会・町内会等を通じて、住民への周知啓発のため、出前講座の利用を積極的に働きかけます。 <p>(2)個別地区に対する出前講座利用の呼びかけ</p> <p>①出前講座実施済み地区について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築協定についての関心が高かった地区については、さらに締結の進め方や手続き等についても理解を深めていただくよう、出前講座の再利用を呼びかけます。 <p>②建築協定締結地区について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定の有効期間満了が近い地区や、協定運営がほとんど行われていない地区の住民に協定の存在と重要性を認識してもらうため、出前講座の利用を呼びかけます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に中高層のマンション建設に伴う紛争が発生が予想される地域には、受け身ではなく、積極的に向き、働きかけています。 ・建築協定地区数は、他の政令市は伸びが少なく、福岡市は増えていっています。 ・出前講座は、25年度は28回実施済み(15地区) ・建築協定締結地区は、25年度は11地区(うち更新は4地区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所や自治会等と連携しながら、建築協定等のまちなみのルールづくり制度を広報・啓発し、建築協定の締結を支援します。 ・協定を締結した地区についても、運営に関する出前講座を行い、より適切な運営を促していきます。 ・出前講座:年間25回(目標) ・協定締結:年間10地区(目標) 						
				実施スケジュール				25年度予定	25年度実績		
				講座内容の改良				再構築・実施	再構築・実施		
				地区指定				再構築・実施	再構築・実施		
				指標項目				現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				出前講座実施回数(回)				18	25	25	28
地区数(地区)				15	18	20	15				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況		26年度以降の取組予定			
1	①	道路下水道局	工事情報提供の見直し 建設部発注の工事情報を市民に幅広くPRし、工事への理解と協力を図ります。 ・工事箇所、工事の目的、工事期間、交通規制など	道路事業については、「道路整備アクションプラン」に基づき整備を推進している道路について、道路完成(供用開始)情報の発信を道路下水道局HPIにて行い、工事情報に関するアクセス状況の調査を行いました。		既に公開している道路・下水道・河川事業に関するHPのアクセス数の動向によりPR効果を検証するとともに、工事情報の発信について試行を行います。さらに国・他都市等の工事情報の開示状況を参考に、市民へ向けたより良い工事情報発信の内容の研究・検討を進めていきます。			
									実施スケジュール
				局ホームページでの情報提供		検討	一部新規提供		
				指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				道路下水道局ホームページ工事情報へのアクセス件数(件)		—	2000件	4,000	872件

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定						
1	①	港湾局	市民との情報受発信による、博多港の理解度UP 市民等を対象とした博多港見学会等の実施や港湾局ホームページ等により、港湾局の取り組みや博多港が市民生活に果たしている役割等について、情報を発信し、市民等の博多港に対する理解度を高めま す。	・博多港のPRツールとして、博多港HP上にfaceBookのページを立ち上げました。 ・近年、小学校等の博多港見学申し込みが減少しているため、福岡市立小学校全校に博多港見学の案内を送付しました。 ・広報・宣伝プロジェクトチーム(PT)を立ち上げ、局内各所属が行う広報活動等について、情報共有を行うとともに、より効果的な広報活動に努めました。 ・26年度の実施に向け、博多港見学者向けアンケートの実施方法等について検討しました。	・博多港見学のコースについて、より魅力あるものとするため、関係部署等と検討を進めます。 ・26年度から、博多港見学者を対象にアンケートを実施します。 ・広報・宣伝PTについては、ワーキンググループ(WG)として継続実施。局内の情報共有と効果的な広報活動に努めていきます。 ・社会科見学の増加を図るため、教職員などを対象とした港見学会を開催予定。						
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績			
				博多港見学会・視察の実施			実施	実施			
				博多港ホームページの充実			実施	実施			
				指標項目		現状値(24nd)	中間目標値(26nd)	最終目標値(28nd)	25年度実績値		
				視察参加者を対象としたアンケートで、視察内容について理解できたと答えた人の割合		-	60%	80%	-		
				指標項目		現状値(23nd)	中間目標値(26nd)	最終目標値(28nd)	25年度実績値		
博多港ホームページへのアクセス数(件)		80万	90万	100万	257万						

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定				
1	①	中央区	<p>情報発信力向上委員会(区民の視点に立った情報発信の推進)</p> <p>区民の視点に立った情報発信の推進を図るため、「情報発信力向上委員会」を立ち上げ、SNS(ソーシャルネットワークサービス)など新たな広報媒体を活用した情報発信を強化するとともに、誰もが分かりやすく、利用しやすいホームページを構築し、区民に伝わる広報の充実を図ります。</p>	<p>①区ホームページに「福岡市Webマップ」や「駐輪場マップ」をリンクさせることで、利便性の向上を図るとともに、各ページにSNSリンクボタンを設置し、情報の広がりにも努めました。</p> <p>②SNSでは、新たにgoogle+やツイッターなどを立ち上げ、黒田武将隊による区役所主催の事業CM映像、公民館の紹介映像などを作成し、HPではできなかった動画をSNSを活用して親しみやすい中央区の情報発信しました。</p>	<p>①区民に対し、分かりやすくタイムリーな区政情報を伝えるため、ホームページや市政だよりの掲載内容の充実を図ります。特にフェイスブックについては各課の主な事業を積極的に情報発信します。</p> <p>②「福岡市の情報発信に関する調査」を基に、中央区のニーズや特性を把握し、当区の情報発信の方向性を検討するとともに、職員からアイデア募集し、改善・実施に着手します。</p>				
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
				SNSを活用した区民への情報発信の強化			実施	実施	
				区ホームページの充実			実施	実施	
				指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				区フェイスブック新規「いいね」の数(累計)(人)		829	2,000	3,500	1,602
				指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				区ホームページのアクセス数(月平均)(件)		13,443	14,000	15,000	13,861

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況			26年度以降の取組予定			
1	①	城南区	市民意見の区政への反映 区役所や市民センターなどに設置された区政への提案箱や来所者及び事業参加者へのアンケートなどで出された市民意見を区政に反映させます。また、区長が地域に出向き、地域課題等について住民と意見交換をします。	区役所への提案件数は39件で、全ての案件について回答を行いました。 住民と区長が地域で意見交換を行う事業「こんにちは区長です」は、6校区で実施しました。			26年度は2年に1度の来所者アンケートや5校区での「こんにちは区長です」を実施します。 その他の事業についても継続して取り組んでいきます。			
									実施スケジュール	
				区役所への提案			実施	実施		
				来所者アンケート			—	—		
				「こんにちは区長です」			実施	実施		
				指標項目			現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				市民からの提案に対する回答率 (回答件数/提案件数)			100%	100%	100%	100%
				指標項目			現状値 (23・24nd)	中間目標値 (25・26nd)	最終目標値 (27・28nd)	25年度実績値
				「こんにちは区長です」の実施回数(校区)			11(全校区)	11(全校区)	11(全校区)	6

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	①	城南区	<p>多様な広報媒体による区・地域情報の発信</p> <p>市政だより区版や区ホームページに加え、フェイスブック、広報テレビ番組等、多様な広報媒体により、区や地域の取り組みを発信します。また、年度当初に自治協議会に対して区政の取り組み方針を説明するとともに、市民向けリーフレットを作成・配布します。</p>	<p>フェイスブックや広報テレビ番組といったさまざまな広報媒体を用いた区・地域情報の発信を行いました。</p>	<p>区・地域情報をより広く詳しく伝えていくため、継続して事業を実施していきます。</p>					
									実施スケジュール	
					フェイスブック等での情報発信				実施	実施
					区政取組方針説明会、市民向けリーフレットの作成・配布				実施	実施
					指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
					市政だより区版、広報テレビ番組で紹介する延べ校区数(校区)		22 (11校区×2)	22 (11校区×2)	22 (11校区×2)	22 (11校区×2)

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定						
1	①	早良区	窓口サービス向上のための満足度調査等の実施 区役所の窓口サービスの向上に資するため、窓口サービスに関する満足度について、アンケート調査を実施します。 ○ 来庁された方を対象に、職員のあいさつ、言葉遣い、服装、説明の分かり易さなどに関する満足度等を尋ねる紙ベースのアンケートを実施します。(毎年1回、同じ時期、同じ質問で) ○ 来庁された方を対象に、チラシやパンフレット、庁内案内サイン等の感想を尋ねるヒヤリング形式のアンケートを実施します。(パンフレット作成時等随時) ○ インターネット会員を募集し、eメールによるアンケートを実施します。 ○ 区内関係課によるプロジェクトチームでアンケートの内容を検討するとともに、アンケートの結果を踏まえての改善策等の検討を行います。	調査は早良区市民サービス向上委員会(以下「委員会」)で企画し、区内全部署の協力を得て実施。調査結果は、委員会での検討に活かすとともに、各課へフィードバックし、改善に活かすことを奨励しました。 ○実施日 平成25年9月17日(火)・30日(月) ○内容 職員対応面、施設環境面に関する満足度(4段階評価) ○有効サンプル(回収)数 1,520票 ○実施方法 玄関でアンケート票を配付し帰庁時に回収(待合時に記入してもらう) ○調査結果:「満足」「どちらかという満足」の合計 職員対応面 86.6%、施設環境面 76.5%	調査実施は未定。 当面、調査結果に基づく改善策の実行に重点を置きます。 なお、インターネット会員の募集については、その有効性や実効性などを再検討します。						
								25年度予定	25年度実績		
							関係課によるプロジェクトチームにより、アンケートの内容を検討	実施	実施		
							インターネット会員を募集	実施	検討		
							アンケートの実施	実施	実施		
							指標項目	現状値(24nd)	中間目標値(26nd)	最終目標値(28nd)	25年度実績値
							アンケートによる満足度	—	60%	80%	82%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	①	水道局	<p>お客さまとの相互理解の促進</p> <p>・お客さまに水道事業に対する理解を深めてもらうため、市民を対象にした講座「水道カルチャークラブ」や水道局職員が小学校での出前講座を行う「こども水道教室(仮称)」などお客さまとの対話を通して、様々な情報を分かりやすく、きめ細やかに提供します。</p> <p>一方でお客さまの水道事業に対するニーズをサービス向上や事業運営に反映するために、お客さまのご意見などを職員全体で共有するとともに、4年に1度の「水道水に関する意識調査」の実施サイクルを2年に1度とし、お客さまニーズをよりの確に把握します。</p> <p>・また、お客さまに水道事業の財政状況についても、より理解を深めてもらうように、現在公表している今後の事業計画や財政収支計画、水道事業ガイドラインに基づく業務指標等に加え、財政状況の経年比較等を公表し、水道局の方針や取組み・課題等の情報を多様な手法でわかりやすく積極的に発信します。</p>	<p>【お客さまとの対話を通じた情報提供】 市民講座「水道カルチャークラブ」を、11月・12月に3回実施し、延べ約70人が参加しました。 また、小学校での出前講座「水道ボーイフクちゃんのこども水道教室」を、市内小学校7校で実施し、小学校4年生約700人の児童が受講しました。</p> <p>【水道事業の財政状況についての情報発信】 これまで未公表であった財務情報(ABC分析、損益計算書及び貸借対照表)の経年比較をホームページ上にて公表しました。 また、他事業体(他都市)との財政状況の比較を公表するにあたり、比較する項目及び手法を検討し、経営指標をホームページ上にて公表しました。</p> <p>【お客さまニーズの把握】 11月に市内居住者3,000人を対象に「福岡市の水道に関するお客さまアンケート」を実施し、事業運営の参考としています。</p>	<p>【お客さまとの対話を通じた情報提供】 「水道カルチャークラブ」については、申込みが少ないことなどから、お客さまとの相互理解を促進しつつ効果的なPRができる方法を検討します。 「こども水道教室」については、試行の結果、学校・児童からの評価が良好であったことから、実施校数を拡大し20校で実施します。</p> <p>【水道事業の財政状況についての情報発信】 他事業体(他都市)との財政状況の比較・公表を実施するにあたり、誰にでも分かりやすい情報の発信を目指し、前年度に引き続き公表方法を検討し、実際に公表を行います。</p> <p>【お客さまニーズの把握】 25年度に実施したアンケート結果を適宜活用しながら事業運営を行うほか、他のアンケート調査なども活用します。</p>					
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績		
				水道カルチャークラブの実施			見直し・実施	見直し・実施		
				こども水道教室の実施			試行	試行		
				財政情報の経年比較の公表			実施	実施		
				財政情報の他事業体との比較の公表			比較項目・手法の検討	比較項目・手法の検討		
				「水道水に関する意識調査」の実施			実施・分析	実施・分析		
				指標項目			現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				お客さま満足度			83.7%	84%	85%	87%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定			
1	①	交通局	<p>情報提供の強化等によるお客様満足度の向上</p> <p>交通局では平成21年2月に策定した福岡市地下鉄中期経営指針において、「お客様満足度8.0以上を目指す」ことを目標の1つとして掲げています。これまで、「お客様の声」や「地下鉄モニター制度」を活用し、頂いたご意見を施策に反映させてきたほか、ホームページの充実などお客様への積極的な情報発信に取り組み、お客様満足度の向上を図ってきました。</p> <p>今後とも、安全・安心を最優先に、快適・便利な地下鉄を目指し、ホームページの改修や地下鉄駅の列車案内システムのリニューアルによるお客様への情報提供の強化に努めるほか、広聴業務の充実・強化を図るなど、お客様の立場に立った利便性向上に取り組み、お客様満足度の向上を目指します。</p>	<p>交通局ホームページについて、スマートフォン専用ページを新設するとともに、お客様の声を改善に活かした事例の紹介を行うなど、情報提供の強化に取り組みました。</p> <p>また、車いす・ベビーカー等をご利用のお客様の利便性向上のため、車両の優先スペースに優先表示を行ったほか、ダイヤ改正や臨時列車の運行等を行うなど、利便性の向上に努めました。</p>	<p>平成26年度は、地下鉄路線全体の運行情報等に加え、JR九州や西鉄とも連携を強化し、他社線の運転見合わせなどの情報を提供できるよう、運行情報提供システム等の整備を行うこととしています。また、地下鉄ホームページのリニューアルを行い、地下鉄の情報や魅力の発信を強化します。</p> <p>その他の取組みとしては、車内優先席の拡大や、駅トイレの改良、モラル・マナーの向上に向けた啓発活動等を行い、より快適・便利な地下鉄を目指します。</p>			
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績
				「お客様満足度調査」の実施			実施	実施
				お客様満足度向上の取組の実施			実施	実施
				指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)
「お客様満足度調査」によるお客様満足度(ポイント ※10点満点)		7.3	8.0	8.0	7.7			

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定							
1	①	教育委員会	学校と家庭・地域の連携強化 信頼される学校づくりを推進するため、学校の教育活動に関する情報を保護者や地域住民等に広く提供し、学校への理解を深めてもらい、開かれた学校づくりを積極的に進めるとともに、学校・家庭・地域で共働き、子どもを育てる「共育」の場づくりを推進します。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> ※指標「学校評価(学校関係者評価)をホームページで公表している学校数(校)」については、小学校数が145→143となったため、最終目標値を233→231へ変更。 </div>	○学校公開週間の推進 全市一斉の学校公開週間(11/1～11/7)を設定し、保護者や地域住民に対して学校を公開する取り組みを実施しました。 学校公開週間における各学校・幼稚園の公開内容を一覧にまとめ、教育委員会ホームページに掲載しました。また、情報プラザ等の窓口にも一覧を設置しました。 来校者に対して、多くの学校・幼稚園でアンケートを実施し、来校者からの意見などを学校運営に活用しました。 ○学校評価の推進及び公表の促進 「学校評価ガイドブック」に基づき、学校評価を実施しました。	○学校公開週間の推進 これまで同様、全市一斉の学校公開週間(11/1～11/7)を設定します。 また、市民への周知を図るための新たな手立てを検討します。 ○学校評価の推進及び公表の促進 各学校・幼稚園の公表の状況を把握し、目標値達成のための手立てを検討します。 「学校評価ガイドブック」の見直しを行います。							
					実施スケジュール			25年度予定	25年度実績			
					学校公開週間の推進			実施	実施			
					学校評価の推進及び公表の促進			実施	実施			
					指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値		
					学校公開週間の来校者総数(人)		133,344	140,000	144,000	146,092		
					学校評価(学校関係者評価)をホームページで公表している学校数(校)		49	141	231	78		

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	①	人事委員会	市職員の採用に関する情報の提供	<p><IT等の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ情報の修正・追加等の更新を随時行い、適時、最新の情報及びわかりやすい内容の掲載に努めました。 ・ホームページQ&Aについては、閲覧者がより詳細を求めるであろう質問を想定し、また、直接の問い合わせなど実態に合わせて内容の更新に努めました。 ・メールマガジンの配信、24時間テレホンサービス、求人サイトへの掲載等 <p><各種案内></p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集パンフレット等を各種施設(900施設以上)に配付・設置 ・市政だより、公報、新聞等への情報掲載 等 <p><説明会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学、高校等での説明会の実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き下記の取り組みを行います。 <p><IT等の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの情報の随時更新、アンケート結果の反映 ・ホームページQ&Aの充実 等 ・メールマガジンの配信、24時間テレホンサービス、求人サイトへの掲載等 <p><各種案内></p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集パンフレット等を各種施設への配付・設置 ・市政だより、公報、新聞等への情報掲載 <p><説明会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学、高校等での説明会の実施 等 					
			市ホームページの職員募集に、市職員の採用に関する情報をわかりやすく提供するとともに、学校関係者等に対して市職員の採用に関する情報をメールマガジンで配信し、受験者の確保に努めます。							
			実施スケジュール				25年度予定	25年度実績		
			ホームページ閲覧者へアンケート調査				実施	実施		
			わかりやすいホームページの作成				再構築・実施	再構築・実施		
			メールマガジンの配信				検討・実施	検討・実施		
			指標項目				現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
			ホームページ閲覧者へのアンケート調査満足度				-	50%	70%	96%
メールマガジンの配信件数(件)				-	50	100	46			

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定		
1	①	監査事務局	ホームページの充実	ホームページを通して、監査情報を市民に分かりやすく提供するため、以下の点に取り組みました。	ホームページを通じて、監査情報を市民に分かりやすく提供するため、以下の点に継続して取り組みます。		
			「市民の視点に立った監査」を推進するため、ホームページを通して、監査結果や指摘等に対する是正・改善の状況並びに決算審査意見書などの監査情報を市民に分かりやすく提供するとともに、掲載内容の充実に努めます。	・監査の結果、指摘等に対する是正・改善の状況、決算審査意見書などの監査情報について、新しい情報をスピーディーかつタイムリーに更新しました。	・監査の結果、指摘等に対する是正・改善の状況、決算審査意見書などの監査情報について、新しい情報を随時更新し、掲載内容を充実させていきます。	・監査の結果、指摘等に対する是正・改善の状況、決算審査意見書などの監査情報について、新しい情報を随時更新し、掲載内容を充実させていきます。	
						25年度予定	25年度実績
			ホームページのレイアウト変更			実施	実施
			ホームページの掲載内容の充実			実施	実施
			指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
			ホームページのアクセス件数(件)	7,103	8,700	9,200	7,826

[推進項目② 行政手続きの利便性向上]

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況		26年度以降の取組予定			
1	②	市長室	<p>みんなが使いやすいホームページの作成</p> <p>高齢者や障がいのある人も含め、誰に対しても情報がきちんと伝わったり、サービスを利用できたりするための取組み(アクセシビリティの向上に向けた取組み)を行います。</p>	<p>福岡市ホームページ基本方針の改定に向け、アクセシビリティに関する現状調査を実施しました。また、アクセシビリティに対する理解促進等に向けた職員研修を実施しました。平成26年度に福岡市ホームページ基本方針の改定を予定しています。</p> <p>※指標については、福岡市ホームページ基本方針の改定にあわせて設定します。</p>		<p>平成25年度の現状調査を踏まえ、福岡市ホームページ基本方針の改定を行います。また、アクセシビリティ向上に向け、具体的に改善取り組んでいきます。</p>			
									実施スケジュール
				福岡市ホームページ基本方針の改定		改定	検討		
				アクセシビリティの向上に向けた取組み		検討	検討・実施		
				指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				福岡市ホームページ基本方針の改定(25年度予定)により、設定した達成基準		-	今後設定	今後設定	-

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	②	総務企画局	ICT(情報通信技術)の活用による行政サービスへのアクセス向上 市民サービスの向上のため、効果があると判断される手続については、積極的にオンライン化を進めていきます。 また、オンライン手続の認知率は27.7%(平成24年度市政アンケート)となっており、今後とも周知広報に努め、総件数に占めるオンライン件数の割合を高めていきます。	市民・企業が利用できるオンライン行政サービスに、新たに2手続(薬局の処方箋届出、産廃処理実績報告)が追加されました。 また、オンライン手続の認知率向上のため、毎週発行の福岡市メールマガジンでの啓発活動に加え、5～6月と12月～1月には、市役所内および天神エリアのデジタルサイネージ(広報・宣伝用の大型ディスプレイ装置)で、電子手続のPRを行いました。	引き続き、市民サービスの向上のため、効果があると判断される手続については、積極的にオンライン化を進めていきます。					
					実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
					「行政手続のオンライン化指針」「電子収納導入指針」の活用による、手続オンライン化の促進			実施	実施	
					オンライン手続に係る周知広報			実施	実施	
					指標項目		現状値(23nd)	中間目標値(26nd)	最終目標値(28nd)	25年度実績値
					総件数に占めるオンライン件数の割合		65.9%	68%	70%	64%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定						
1	②	財政局	証明書交付業務の改善による市民サービスの向上 市税に関する証明等の添付が必要となる各種申請・届出等について、手続に伴う市民の負担の軽減・利便性の向上と区役所等における証明窓口の混雑解消を図る観点から、次の取組により、当該添付書類の削減を図ります。 ・所得証明の添付に替え、本人からの同意を基にした税務部門から事業所管課への課税情報の提供の実施を検討します。 ・「市税に滞納がないことの証明」の添付に替え、本人からの同意を基にした事業所管課からの税務部門への納税情報の内部照会の実施を検討します。	行政手続における添付書類削減の取組状況について、総務企画局と連携し現状把握を行うとともに、各所属宛に必要性および手続きについて説明を行い、税情報の内部照会に係る新規案件の受付を開始しました。	対象事業にかかる調査内容を精査し、実施効果が高い事業を中心に積極的に働きかけを行うなど、事業拡大に向けた取組みを行います。						
								実施スケジュール		25年度予定	25年度実績
								証明書を必要としている事業数を各局へ照会・現状把握		実施	実施
								全事業のうち、内部照会が可能な事業を行っている部署へ内部照会等の実施を提案		提案・実施	提案・実施
								内部照会等の新規受付開始		準備・実施	準備・実施
								指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)
内部照会方式等による照会実施事業件数(件)		75	110	135	89						

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況			26年度以降の取組予定			
1	②	市民局	区役所窓口支援システムの導入 住民異動届を市民課で受付後、関係各課に住民異動届をスキャンして送付することで、各業務の申請用紙に自動的に住所及び氏名を印字するシステムを導入します。 市民が、各種申請書に何度も、住所や名前を記載する必要をなくすことにより、手続きの簡素化と時間短縮を図ると共に、手続きもれを防ぎます。	試験導入した東区役所において、システム運営上改善すべき点があったことから、市民課及び保険年金課の2課間のシステムとして本格運用を行うとともに、システム改修の検討を行いました。			システム運営の方向性及び改修方策について、関係課と協議の上決定し、所要の改修を行い、システム導入区を順次拡大していきます。			
									実施スケジュール	
				区役所窓口支援システムの導入			一部実施 (3区導入)		一部実施 (1区導入)	
				指標項目			現状値 (24nd)	中間目標値 (25nd)	最終目標値 (26nd)	25年度実績値
				区役所導入数(区)			1	3	7	1

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定				
1	②	市民局	郵送請求事務の集約化・委託化の推進 現在、7区役所の市民課で行っている住民票の写し等の郵送請求及びその手続きに関する問い合わせ等に係る事務を、“郵送請求事務センター”1ヶ所に集約化し、その大部分の業務を民間委託することで、行政運営を効率化するとともに市民サービスの向上を図ります。	各区市民課において、主に嘱託職員が行っていた郵送請求事務を、平成26年1月から「福岡市住民票等郵送請求センター」(中央区長浜・鮮魚市場会館内)に集約化し、業務を開始しました。 また、4月からの委託化に向けての準備を行いました。	平成26年1月より「福岡市住民票等郵送請求センター」(中央区長浜・鮮魚市場会館内)に集約化した業務について、4月から委託化を実施し、日数の短縮などの市民サービス向上を図ります。				
					実施スケジュール			25年度予定	25年度実績
					郵送請求事務センターでの事務取り扱い開始			実施 (26年1月)	実施 (26年1月)
					指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
					請求を受けてから発送するまでの日数(日)	2	1	1	2

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定				
1	②	市民局	コンビニエンスストアでの証明書自動交付の推進 区役所まで出向くことなく、より身近なコンビニエンスストアで、住民票の写し等の各種証明を自動交付するサービスを、平成24年8月より開始しました。 このサービスを推進するためにコンビニでの証明書交付手数料を窓口より恒常的に50円安く設定しており、より一層の利用者増を図るため、周知・広報を推進します。	コンビニ交付については、年間を通して、コンビニ事業者の新規参入等の機会を捉え、市政だよりを使った広報やマスコミへの情報提供を行うとともに、PRポスターを作成し、区役所の来庁者が増える繁忙期にかけて制度のPRを図りました。	現在の住民基本台帳カードを利用したコンビニ交付の普及にあたっては、市政だより等を活用した制度のPRに努めるとともに、区役所窓口等での効果的な勧誘を行います。 また、平成28年1月からは、開始予定の個人番号カードの交付に向け、コンビニ交付の更なる普及策を検討します。				
					実施スケジュール			25年度予定	25年度実績
					コンビニ交付事業に関する広報の充実			実施	実施
					指標項目	現状値 (24年8月)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
					全ての有料証明発行数に占めるコンビニ交付発行証明の割合	0.5%	2.7%	6.1%	1.8%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定						
1	②	住宅都市局	手続きのオンライン化等による利便性向上(市立霊園、市営住宅) 市民の利便性向上を図るため、手続きが簡略化できるものについて、オンライン化や簡素化に取り組みます。 ○申請書様式などの市ホームページ掲載を進めます。 ○市立霊園の利用者募集について、ホームページ掲載情報をより充実させるとともに、資料の配布など、ウェブ上で可能な機能を拡充します。 ○市営住宅の入居者募集について、窓口や郵送での受付に加え、電子申請への対応を進めます。	・市営住宅の入居者募集について、電子申請による申込受付を行いました。 ・市立霊園については、申込みは郵送ですが、申込案内のダウンロードが可能となっています。改革実行計画の指標としている「市立霊園利用者募集」ウェブサイトのアクセス件数(6月)は既に達成済みです。	市営住宅の入居者募集について、引き続き電子申請による申込受付を行うとともに、周知に努めます。 市立霊園の募集については、利用者のさらなる利便性向上のため、26年6月の募集より電子申請による受付を開始しています。						
					実施スケジュール			25年度予定	25年度実績		
					「市立霊園利用者募集」ウェブサイトの充実			実施	実施		
					市営住宅入居者募集時の電子申請受付			実施	実施		
					指標項目		現状値(24nd)	中間目標値(26nd)	最終目標値(28nd)	25年度実績値	
					「市立霊園利用者募集」ウェブサイトのアクセス件数(件)		471	700	1000	1113	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定			
1	①	道路下水道局	駐輪場におけるICカード精算の導入 都心部の駐輪場を中心に、ICカードによる精算が可能な機器を順次導入することで、支払い手続きの簡素化による駐輪場の利便性の向上を図ります。	新規にIC精算を導入した駐輪場 [内訳] ・清流公園駐輪場 425台 ・中島公園駐輪場 352台 ・中洲川端駅路上駐輪場 203台 合計 980台	新規にIC精算を導入を予定している駐輪場			
					[内訳] ・金山駅駐輪場 385台 (平成26年度中) ・明治公園駐輪場 711台 (平成26年6月中旬) 合計 1,096台			
					実施スケジュール			25年度予定
駐輪場へのICカード精算の導入			実施	実施				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	②	東区	窓口の待ち時間短縮に向けた取組 市民課においては、恒常的な窓口混雑を緩和するため、受付窓口を増設し、繁忙時の待ち時間の大幅な短縮を図ります。 また、保険年金課等においても、BPR(業務プロセス改革)推進により、待ち時間の短縮を図ります。	・恒常的な窓口混雑を緩和するため(H25年8月に東区人口が30万人を突破)、待合スペースの拡充、窓口増設等の本館1階フロアレイアウト改修を行い、H26年1月6日にリニューアルオープンしました。 ・H26年2月より保険年金課にフロアマネージャーを配置しました。 ・東区は、リニューアルを機に、平成26年を「市民サービス向上元年」と位置付け、これまで以上に市民サービス向上に取り組むため、H26年3月に窓口の環境改善等に係る職員提案やアイデアを検討・実施する「市民サービス向上委員会」を設置しました。	・窓口混雑の緩和のため、改修後の待合フロアの快適な環境づくりと、事務フロアのより効率的な利用について、改良を続けていきます。また、繁忙時の待ち時間を短縮するため、今後もより効果的な業務体制づくりに取り組みます。 ・H26年3月に設置した「市民サービス向上委員会」を随時開催し、提案されたアイデア等について市民目線による調整・検討を行い、現場が求める市民のための改善を実施していきます。					
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績		
				市民課窓口の増設(2窓口)			実施	実施		
				各窓口の待ち時間短縮			—	—		
				指標項目			現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				繁忙時における来庁者の受付待ち時間の割合			【証明】 30分以内で対応 12%	50%	50%	66%
			【異動】 60分以内で対応 22%	80%	80%	57%				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定							
1	②	博多区	特定健診及び各種がん検診における多様な予約システムの構築 現在、博多保健所で実施している特定健診及び各種がん検診は、健康課への直接電話予約を原則としています。 市民の多様な生活スタイルに対応するため、直接電話以外の、時間外でも予約可能なシステムを構築し、特定健診及び各種がん検診の予約に関する利便性の向上を図ります。	集団健診をいつでも予約可能とする博多区独自のシステムとして、FAX予約及びネット予約の構築を進めていたが、26年度から福岡市全体の集団健診予約が委託化される方針となりました。	26年度から福岡市全体の集団健診予約が委託化されたため、今後は、全市システムとして展開します。							
								実施スケジュール			25年度予定	25年度実績
								電話外予約システム			構築・実施	統合
								指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
								年間電話外予約延べ件数(件)	—	100	300	0

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定							
1	②	博多区	区役所内環境の見直し ①区役所フロアのレイアウトの見直し案の策定(ローカウンター化などを含む) ②案内掲示物のデザイン統一化	①受付窓口におけるサービス向上の観点から見直し案を検討中。 ②保健福祉センターにおいて庁舎内案内板の改善を実施。 ※指標については、市の「区役所窓口サービス実態調査」が行われたため、区独自の市民満足度は未測定。	①検討中の区役所庁舎の耐震対策の方向性との整合性を図りながら、引き続き検討を進めます。 ②引き続き検討を進めます。							
								実施スケジュール			25年度予定	25年度実績
								1階フロアのレイアウトの見直し案の策定			変更検討	変更検討
								掲示物のデザイン統一			方針検討	一部実施
								指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
区役所内環境に対する市民の満足度	61.8%	70%	80%	—								

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	②	中央区	窓口サービス向上委員会(窓口サービスの利便性向上) 窓口サービスの利便性向上を図るため、「窓口サービス向上委員会」を立ち上げ、繁忙期の複数課にまたがる手続きについて、来庁者にスムーズに手続きを行ってもらえるよう組織横断的な連携強化を図ります。 また、研修や業務パンフレットの作成等、窓口サービスの情報を職員間で共有する取組みを進めるとともに、来庁者が待ち時間を有効活用できる仕組みづくりに取り組めます。	①職員がよりの確に区の業務を把握するために情報の共有を進め、迅速正確な窓口サービスに役立てました。 具体的には、各課の詳細な業務案内と繁忙期の一覧を作成して職員に配布し、職員全員が各課の業務を的確に把握できるようにしました。 ②窓口サービスの向上に役立てるため、来庁者アンケートを実施することとし、その実施要領を作成しました。(アンケートは平成26年8月実施予定) ③窓口対応において、関係機関と迅速な連絡調整を行い、お客様をお待たせせずスピーディに手続きを進めるため、窓口職場への電話の増設を計画しました。(平成26年度増設予定) ※指標については、隔年調査のため、25年度は未測定。	①職員がよりの確に区の業務を把握するために、各課の業務案内を改訂します。(平成27年1月～) ②来庁者アンケートを実施し、集計結果を分析して窓口サービスの向上に役立てます。 ③お客様の待ち時間の有効活用の仕組みづくりについて、引きつづき検討していきます。	実施スケジュール				
									25年度予定	25年度実績
						繁忙期の組織横断的な連携強化			実施	実施
						窓口案内機能の強化			実施	実施
						待ち時間の有効活用の仕組みづくり			実施	検討
						指標項目			現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)
窓口サービスに対する満足度			—	60%	80%	—				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	②	中央区	<p>庁舎環境改善委員会(区民に分かりやすい庁舎環境の整備)</p> <p>区民に分かりやすい庁舎環境の整備をおこなうため、「庁舎環境改善委員会」を立ち上げ、区役所入口への案内掲示板等の設置や、掲示物・誘導表示のルールづくり等、快適で分かりやすいフロア空間づくりを推進します。</p> <p>また、特に区民の利用が多い1階フロアについて、利用者の立場に立ったフロア配置の最適化について検討を行います。</p>	<p>①庁舎環境の改善に関する職員アンケートを実施し、課題の整理・分析を行い、短期・中期・長期の取組みに整理を行いました。</p> <p>②上記の結果等を踏まえ、市民によりわかりやすい庁舎案内サインの検討を進めるとともに、庁舎3階南側フロアの最適化に向けた具体的な検討を実施しました。</p> <p>※指標については、隔年調査のため、25年度は未測定。</p>	<p>①市民目線に立ったよりわかりやすい庁舎案内表示の実現に向けて、中央区役所全フロアにおいて、庁舎案内サインの抜本的な刷新を実施します。</p> <p>②3階南側フロアにおいては、平成25年度の検討内容を踏まえ、フロアの最適化を実施します。</p> <p>③1階フロアをはじめとした他のフロアの最適化については、引き続き検討を行います。</p>					
									実施スケジュール	
					快適で分かりやすいフロア空間づくり				実施	検討
					1階フロア配置の最適化検討				実施	検討
					指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
					庁舎環境に対する満足度		—	60%	80%	—

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定			
1	②	交通局	<p>地下鉄ICカード「はやかけん」等による行政手続きの利便性向上</p> <p>地下鉄ICカード「はやかけん」については、全国の主要な交通機関において乗車券として利用することができる利便性に加え、本市施設(区役所・博物館等)における電子マネー決済など行政手続きにおける利便性を有するため、普及促進等に取り組み、お客様の利便性向上を図ります。</p> <p>また、平成25年3月23日開始の全国相互利用によって、「はやかけん」を利用できる本市施設では、全国の主要なICカードの電子マネーについても利用することができるため、「はやかけん」を利用できる本市施設の拡大等に取り組み、来街者を含め、本市施設利用者の利便性向上を図ります。</p>	<p>本市施設(区役所・駐輪場・博物館等)において、電子マネー決済で行政手続きが可能な施設は、58施設(H25.3)から71施設(H26.3)となり、13施設(前年比122%)増でお客様の利便性向上を図っています。</p>	<p>「はやかけん」は、約57万枚発行しており、今後も利用者の利便性向上のために、本市施設における電子マネー決済が可能な箇所を順次拡大していく予定です。</p> <p>電子マネー利用件数は、平成25年度末時点で中間目標値(26nd)を上回るペースで増加しており、今後も本市施設利用者の利便性向上に努めます。</p>			
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績
				「はやかけん」を利用できる本市施設の拡大			実施	実施
				「はやかけん」の広報・PR等			実施	実施
				指標項目		現状値(24nd)	中間目標値(26nd)	最終目標値(28nd)
本市施設における電子マネー利用件数(年間)(件)		35,450	42,000	50,000	49,733			

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定				
1	②	人事委員会	市職員採用試験申込みの利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 電子申請システムの安定稼働に努め、エラーによる郵送申し込みへの切り替えの抑制に努めました。 郵送用申請書のダウンロードを開始しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き電子申請システムの安定稼働及び郵送用申請書のダウンロード等の提供を行い、利便性の維持・向上を行います。 				
			市職員採用試験申込みについて、インターネット(電子申請)による申込みを推奨し、郵送による申込書をインターネットからダウンロードを可能にすることで、申込手続きの利便性を向上します。						
			実施スケジュール				25年度予定	25年度実績	
			インターネット申込みの推奨				実施	実施	
			申込書のダウンロード化				実施	実施	
			指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値	
			受験申込み全体に占めるインターネット(電子申請)申込みの割合		48.9%	55%	60%	64%	
			指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値	
郵送申込みに占めるダウンロード申込書の割合		-	20%	30%	36%				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況		26年度以降の取組予定		
1	②	農業委員会	農地法関係手続きに係る情報提供	ホームページを活用して、各種申請書の揭示や制度についての説明等揭示内容の見直しを行い、手続きの円滑化を図りました。		今後も適宜揭示内容の見直しを行うなど、手続きについての情報提供の充実を図っていきます。また、各種証明の所管区域についても一部に関しては、可能となるように引き続き処理方法等の見直しを行っていきます。		
			ホームページにて「農業委員会の概要」をはじめ、「農地の売買・貸借」「農地の転用」「各種証明」「農業者年金」等にかかる諸手続きの流れ、標準処理期間や制度の説明を行なうとともに「農地の賃借料」「農業委員会からのお知らせ」などを掲載して広く情報提供を行ない各種手続きの円滑化を図ります。また、各種証明の受付について、所管区域を越え事務局、西部出張所のどちらでも受け付け出来る体制を整え申請者の負担軽減を図ります。					
			実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
			情報の点検・更新			実施	実施	
			指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
情報の更新累積回数(回)		30	90	150	60			

[推進項目③ 市民との共働]

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況			26年度以降の取組予定			
1	③	財政局	<p>施設利用者の満足度向上</p> <p>多くの市民が利用する施設をより良くするため、従来型の市民アンケートの手法に加え、行政のプロである多様な分野の市職員の知識・経験を活かし、施設の評価を行うことで、安全安心、福祉、子育て、集客など、様々な視点から、より満足度の高い施設整備、運営を図ります。</p> <p>また、市職員が縦割りの壁を超えて同じ施設の評価を行うことで、担当業務に関わらず、市民の満足度向上が市職員の重要な使命であるという意識付けに繋がります。</p> <p>・利用開始後振り返り評価 市有施設を建設する際には、ワークショップ等により利用者からの意見の収集、反映に努めているものの、実際に利用開始した後に、建設時には気づかなかった利用者の視点からの課題が明らかとなることがあります。</p> <p>そこで、利用開始後の施設について、利用者アンケートのほか、市職員による評価を行い、その結果を事例集等としてまとめ、今後の設計の際に参考とすることで、施設設計を利用者の視点から改善していきます。</p> <p>・市役所本庁舎等の評価 市施設の中でも、財政局が所管する市役所本庁舎、北別館、西側広場等は、市民が頻繁に利用する施設であることから、特に利用者満足度の向上を図っていきべき施設であると考えられます。</p> <p>そこで、これらの施設について、利用者アンケートのほか、市職員による評価を行い、その結果を踏まえ、利用者満足度の向上を図ります。</p>	<p>・利用開始後振り返り評価 市民体育館、市民プール、市民センターなどの満足度について5種用途(21施設)のアンケート調査を行いました。また、公民館(8施設)の施設管理者に対してヒアリングを行いました。</p>	<p>・利用開始後振り返り評価 アンケートとヒアリングの結果をまとめ、各施設管理者に対して結果を還元するとともに、施設設計の指針を作成します。 他施設のアンケート・ヒアリング調査について継続します。</p>					
				<p>・市役所本庁舎等の評価 来庁者を対象に本庁舎の案内表示、設備、駐車場などの満足度についてアンケート調査を行いました。</p>	<p>・市役所本庁舎等の評価 アンケート結果を踏まえ、施設の改善を検討し、実施を図ります。 アンケート調査については毎年度継続して行います。</p>					
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績		
				利用開始後振り返り評価			検討・試行	検討・実施		
				市役所本庁舎等の評価			検討・試行	検討・実施		
				指標項目			現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				利用者・市職員評価の実施回数(回/年)			0	6	12	6
市役所本庁舎等の利用者満足度			—	78%	80%	76.9%				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定			
1	③	市民局	社会構造の変化に応じた地域コミュニティ支援	<p>社会情勢の変化などに伴い深刻化する地域課題に、自治協議会を中心とする地域が柔軟かつ効果的に取り組むことができる環境づくりと支援の推進を図ることを目的に、副市長をトップとする庁内検討プロジェクトチームを設置するとともに、有識者や地域の意見を伺いながら、地域コミュニティの負担軽減に向けた環境づくりや基盤強化・活性化に向けた支援策について検討しました。</p>	<p>25年度に検討した内容について、可能なものについては実施するとともに、継続検討となった項目を含め、自治協議会制度発足10年の節目として、改めて10年間の成果と課題の分析とあわせて、新たに外部委員をもって構成する検討会を設置し、庁内検討プロジェクトチームとともに引き続き検討を進めていきます。</p>			
			<p>地域コミュニティの基盤強化・活性化に向けた具体的方策等について、地域活動の関係者や有識者等と意見交換しながら検討し、取組を進めます。</p>					
			実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
			地域コミュニティの基盤強化・活性化に向けた取組			検討	検討	
			指標項目		現状値 (22nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
地域活動に参加したことがある市民の割合	56.2%	62%	65%	52%				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定							
1	③	市民局	<p>共働事業提案制度の推進</p> <p>多様な市民ニーズに対応したきめ細かい市民サービスを提供するため、NPOの柔軟で斬新な事業提案を募集し、採択された事業についてNPOと市が共働で事業に取り組む「共働事業提案制度」を実施します。さらに、共働をより一層促進するための啓発事業を実施します。</p>	<p>・NPOからの事業提案を公開プレゼンテーションを経て採択(2事業)。</p> <p>・前年度1年間の事業の成果等を報告する「最終報告会」(4事業)や、翌年度も事業継続を希望する事業の「中間報告会」(3事業)を実施。</p> <p>・多様な主体との対話の場「共働カフェ」の実施。</p> <p>※指標「担当業務においてNPOと共働したことがある市職員の割合」については、隔年調査のため、25年度は未測定。</p>	<p>・引き続き、公開プレゼンテーションや報告会等を実施します。</p> <p>・「共働カフェ」等を通して多様な主体との出会いの場、対話の場を創出します。</p> <p>・これまで採択された事業についてフォローアップ調査を行い、共働事業の成果を検証します。</p>							
					実施スケジュール			25年度予定	25年度実績			
					NPOからの提案募集・審査・実施事業評価			実施	実施			
					共働への理解促進			実施	実施			
					指標項目		現状値 (20~24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値		
					共働事業提案制度による共働事業数 (新規採択数の累計件数) (件)		24	32	40	26		
					指標項目		現状値 (22nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値		
担当業務においてNPOと共働したことがある市職員の割合		23.3%	36%	42%	-							

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	③	市民局	市職員の共働への理解と意識の向上及び連携強化 地域コミュニティやNPO等との共働に関する市職員の理解を促進するため、職員研修等を強化します。	○コミュニティに関する全職員研修の実施 ・新規採用職員研修 25.4.12(3回)(267名) ・社会人採用研修 25.4.9(13名) ・全職員研修 26.1.27~26.2.4(全14回)(1,208名) ○NPOとの共働促進啓発事業の実施 ・共働を理解する課長研修や、一般職員・公民館職員を対象にしたNPOを理解する研修の実施。 ※指標「担当業務においてNPOと共働したことがある市職員の割合」については、隔年調査のため、25年度は未測定。	○コミュニティに関する全職員研修の実施 ・引き続き、新規採用職員研修や社会人採用研修、全職員研修でコミュニティに関する研修を実施します。 ○NPOとの共働促進啓発事業の実施 ・引き続き、共働を理解する課長研修や、一般職員・公民館職員を対象にしたNPOを理解する研修を実施します。					
					実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
					新規採用職員研修			実施	実施	
					地域コミュニティに関する全職員研修			実施	実施	
					共働を理解する課長研修			実施	実施	
					指標項目		現状値 (22nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
					担当業務においてNPOと共働したことがある市職員の割合		23.3%	36%	42%	-
					指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
					地域コミュニティに関する全職員研修を受講した職員の数(人)		3,823	6,800	9,800	7,028

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況		26年度以降の取組予定			
1	③	市民局	企業の地域活動を促進する仕組みづくり	企業の地域活動の促進に向けた、具体的方策について検討しました。		引き続き、企業の地域活動の促進に向けた、具体的方策について検討を進めます。			
			企業の地域活動の促進に向け、具体的方策を検討し、取組を進めます。						
			実施スケジュール				25年度予定	25年度実績	
			企業の地域活動の促進に向けた取組				検討	検討	
			指標項目				現状値 (22nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)
地域活動に参加したことがある市民の割合				56.2%	62%	65%	52%		

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定						
1	③	市民局	職員の地域活動・社会貢献活動等への参加促進 市民と直接接する実務経験を増やすことにより、市民ニーズや地方公務員としての役割などを再認識し、その経験・知識を業務に活かします。 具体的には、局職員に対して、局内各部署が実施する市民を対象としたイベントや地域活動・社会貢献活動などに関する情報を収集・発信することで、局全体で参加しやすい風土を作るとともに、局内電子掲示板等で活動報告を行いながら、参加者の裾野を広げていきます。	・他課が実施する対市民業務について、随時ピックアップして局内で参加を呼びかけました。 ・局内職員に、参加状況のアンケート調査を行いました。	引き続き、局内職員に対し、地域活動や他課が実施する対市民各活動への参加呼びかけを行うとともに、参加しやすい環境づくりを検討します。						
								実施スケジュール		25年度予定	25年度実績
					参加可能な対市民業務の情報収集・発信、職員の参加			実施	実施		
					社会貢献活動等の情報収集・発信、職員の参加			実施	実施		
					活動結果の評価			検討・実施	検討		
					指標項目			現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
					他課が実施する対市民業務に参加したことがある職員の割合(過去1年間)			53.7%	65%	75%	64%
地域活動や社会貢献活動に参加したことがある職員の割合(過去1年間)			54.5%	65%	75%	51%					

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定							
1	③	こども未来局	<p>NPO・企業等との連携・共働による市民サービス意識の向上</p> <p>NPO・企業等との連携により市民サービス意識の向上を図るため、各種研修及びNPOとのワークショップなどを行う。</p>	<p>《全体的に》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改革実行計画に取り組んでいくにあたって、負担感、やらされ感がないように、平成25年4月から10回に分けて研修を行い、課題の共有を行いました。 ①4/9管理職員研修19名②5/29係長研修A20名③6/14係長研修B20名④6/21係長研修C20名⑤7/2係員研修A25名⑥7/26係員研修B28名⑦8/8係員研修C28名⑧8/20キックオフ研修A『こ未来キャストコレクション』⑨8/28キックオフ研修B『こ未来相談箱』⑩8/29キックオフ研修C『ちょこイベント』 ・改革実行計画の項目で、取り組みやすいものから3段階に分けて実施していくこととしており、8月から第1段階として『こ未来キャストコレクション』、『こ未来相談箱』、『ちょこイベント』の3つについて検討など行いました。 ・局の共有フォルダを作成し、各課のスケジュールが閲覧できるようにしました。 	<p>・平成26、27年度に取り組む『子育て情報の受発信と共有』、『こども未来局におけるガバナンス改革』、『コミュニケーション改革』を実施し、次のステップとして平成27年度よりNPO・企業等との連携・共働について検討していきます。</p> <p>また、職員アンケートについては、アンケートの内容などを具体的に検討し、今年度中に実施します。いずれの取り組みについてもワーキンググループ方式で作業を進めていきます。</p>							
				実施スケジュール				25年度予定	25年度実績			
				NPO・企業等との連携、共働				検討	検討			
				市民サービス意識の向上				研修プロジェクトプラン策定	検討			
				職員アンケート				検討	検討			
				指標項目				現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値	
				子育て環境満足度				60%	62%	65%	60%	
				NPO・企業等との連携の重要性に対する職員の理解度(職員アンケート)				－	80%	100%	0%	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定				
1	③	保健福祉局	市民同士の情報交換の場の創設	<p>より身近で即時性の高い情報交換の場を設けることを目標として、局横断的なプロジェクトチームを立ち上げ、SNSの活用方法等について協議を重ねました。今後局内で行財政改革プランとして利用していくSNSの種類としては「フェイスブック」を選定し、保健福祉局内フェイスブックページの立上げに向け、マニュアルや運用ポリシー等の検討を行いました。</p> <p>※指標については、26年度から測定開始。</p>	平成26年度5月頃より保健福祉局フェイスブックページ運営事務局を立上げ、最終的な運用マニュアル等の整備を行う予定です。8月頃を目途に、保健福祉局フェイスブックページを開設する予定としており、同ページを通して定期的に局内の取り組みや情報を発信していく予定です。				
			<p>これからの時代は、一方的に行政のみでサービスを行うのではなく、地域での支え合いなど市民同士やNPOが様々な場でサービスを行う必要があります。現在、市民が行政から情報を受け取る手法はある一方、市民同士で情報のやりとりができるような場が十分でないことから、保健福祉施策について気軽に情報交換できる場を創設し、個人やNPO、ボランティア団体などがお互いに交流を持ち、連携が図れる体制を整えます。</p>						
			実施スケジュール			25年度予定	25年度実績		
			SNSの活用(フェイスブック等を利用した専用ページの開設)			検討	検討		
			指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値	
SNS(ソーシャルネットワークサービス)登録人数(人)	-	500	1500	-					

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況		26年度以降の取組予定					
1	③	保健福祉局	地域における福祉活動への支援	校区社会福祉協議会が行うふれあいネットワーク、ふれあいサロンに対して、市・区社会福祉協議会を通じて、活動費を助成しました。		ふれあいネットワーク・ふれあいサロンに対しての助成を継続していきます。					
			地域住民が主体的に取り組んでいる高齢者等に対する見守りなどの福祉活動(ふれあいネットワークやふれあいサロン)を支援するとともに、地域住民の地域活動による悩みや相談など下支え可能な環境を推進します。								
			実施スケジュール					25年度予定	25年度実績		
			ふれあいネットワーク					検証・拡充	検証・拡充		
			ふれあいサロン					検証・拡充	検証・拡充		
			指標項目					現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
			ふれあいネットワークを実施している自治会・町内会数(地区)					1,638	1,914	2,075	1,671
ふれあいサロンの実施箇所数(カ所)					292	325	336	327			

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定			
1	③	環境局	<p>計画等策定時における対話手法(ワールドカフェ方式など)の導入</p> <p>行政計画などの策定の際に、従来の委員会形式に加え、市民との対話を重視した手法(ワールドカフェ方式など)の導入を検討します。</p> <p>具体的な内容については、計画等の性格や策定期間などに応じて随時検討を行い、行政計画などの策定時における市民対話手法の活用を定着化します。</p> <p><環境基本計画> 本市総合計画の事例を参考としながら、素案作成の段階で市民対話手法の活用を検討します。</p> <p><野鳥公園> 多様な主体が集う「野鳥公園ラウンジカフェ」を開催し、気軽に意見交換できる対話手法による合意形成を図ります。</p> <p>また、整備後の管理・運営についても、従来の行政主導ではなく、NPOなどの市民活動やCSRなどの民間活力を取り入れ、共働する手法など斬新な公園管理運営の導入を検討し、将来的な管理費抑制を図ります。</p>	<p>平成25年度に策定作業があった計画について下記のとおり対話手法を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●福岡市環境基本計画(第三次) →「ふくおか環境市民カフェ」開催(H25.10.26、37名参加) ※平成26年度策定予定 ●野鳥公園基本計画 →「野鳥公園ラウンジカフェ」開催(全8回(+番外1回)、述べ321名参加) ※基本計画(基本コンセプト・活動プラン)策定(H26.3) ●福岡市環境・エネルギー戦略(仮称) →「エネルギーを[創り、賢く使う]都市づくりカフェ」開催(H25.11.8、36名参加/12.7、31名参加) ※平成26年度策定予定 	<p>平成26年度に策定作業を予定している下記の行政計画等について、対話手法(ワールドカフェ方式など)導入の有無や導入する場合の実施方法等を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●福岡市環境教育・学習計画(第三次) ●新福岡市地球温暖化対策実行計画 			
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績
				計画等策定過程における市民対話手法の検討及び導入			モデル化・試行	実施
				指標項目		現状値(24nd)	中間目標値(26nd)	最終目標値(28nd)
行政計画などの策定時における対話手法の導入率		—	50%	100%	100%			

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定							
1	③	農林水産局	市民団体等との共働 「自然共生型ため池」の整備にあたり、市民に親しまれる憩いの場となるようワークショップにより地域住民の意見やアイデアを引き出し整備計画に反映させ、整備後の管理についても、市民と共働して実施します。 また、漁業者、林業関係者や市民ボランティア団体などと共働して植林を行う「森と海の再生交流事業」を実施し、水域全体の環境保全に取り組めます。	・自然共生ため池整備事業は、現在5箇所が整備済み。整備にあたっては、地域住民の意向を整備計画に反映させるため、ワークショップを開催しています。 ・ため池の整備後は、花壇管理や清掃を月1回以上行うこととしており、活動に対し、市から助成を行いました。 ・森と海の再生交流事業は、市、漁協、森林組合、民間企業及びボランティア団体で、毎年植林作業を行っています。	「自然共生型ため池」の整備にあたり、市民に親しまれる憩いの場となるようワークショップにより地域住民の意見やアイデアを引き出し整備計画に反映させ、整備後の管理についても、市民と共働して実施します。 また、漁業者、林業関係者や市民ボランティア団体などと共働して植林を行う「森と海の再生交流事業」を実施し、水域全体の環境保全に取り組めます。							
								実施スケジュール		25年度予定	25年度実績	
								自然共生型ため池整備事業		実施	実施	
								森と海の再生交流事業		実施	実施	
								指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
								市民による自然共生型ため池の清掃活動(回)	85	100	120	139

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	③	港湾局	<p>市民との共働によるエコパークゾーンにおける環境の保全と創造</p> <p>博多湾東部の「エコパークゾーン」における環境の保全と創造に向けて、市民団体等との定期的な意見交換や市民共働による環境保全活動を実施します。</p>	<p>干潟の生きもの観察会(7/21:57名参加)、バードウォッチング(1/19:71名参加)といった「自然観察会」(2回)、「アオサ回収活動」(9～10月に4回:のべ445名参加)、「『アマモ場』づくり」(10/12:41名参加)を実施しました。</p>	<p>26年度以降も引き続き、博多湾東部の「エコパークゾーン」における環境の保全と創造に向けて、市民共働による環境保全活動を実施します。</p>					
								実施スケジュール		25年度予定
					市民共働による環境保全活動			実施	実施	
					指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
					市民共働による環境保全活動の累積参加者数(人)		約300	650	1,300	614

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定				
1	③	南区	<p>「Webマップの活用」と「地域福祉ネットワークづくりモデル事業」の推進</p> <p>校区ごとに紙で作成し地域に提供している安全安心マップについて、各校区との協議や地域の理解と協力のもと、各校区でWebマップ上のデータを活用し、それぞれに必要な独自のマップを作成し校区の安全・安心に活用する方向に段階的に進め、地域福祉ネットワークづくりモデル事業をさらに拡大し、推進します。</p> <p>① 現在の各校区の安全安心マップのデータを総務企画局主管のWebマップ上へ反映 ② Webマップ上の安全安心マップを各校区で最新版にメンテナンスしながら活用 ③ Webマップ上のデータを校区の必要性に合わせて、加工・充実し、用途に合わせて「要援護者支援マップ」、「避難経路マップ」など数種類を作成し活用</p>	<p>・安全安心マップの地図データを福岡市ホームページ(webマップ)に取り込み、必要な校区が随時マップを編集できるようにシステムを改修しました。</p> <p>・webマップ活用に関する操作説明会を実施しました。(2回)</p>	<p>・安全安心マップの作成や、災害時要援護者避難支援計画策定などで、校区それぞれの特性を活かした独自マップ作成など、webマップの利用促進を図ります。</p> <p>・各校区から寄せられるシステムに関する質問をマニュアルへ反映させるなど、実際の運営者である各校区自治協議会担当者のシステムに関する知識・スキル向上を支援します。</p> <p>・今後も災害時要援護者支援を推進し、支援計画策定に欠かせない覚書の締結校区を広げていきます。</p> <p>・地域福祉ネットワークづくりモデル事業は、十分な成果を上げたことから、H26年度に思いやりネットワーク事業として継続実施するとともに、全市展開の新事業につながることが出来ました。</p>				
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績	
				Webマップ上の「安全安心マップ」データを地域で編集利用する			一部実施	未実施	
				Webマップ上の地図データを利用して校区独自でマップを作成できるシステムを構築			企画・一部実施	企画・実施	
				地域において、「要援護者支援マップ」、「避難経路マップ」などを作成してコミュニティ活動に活用			検討・一部実施	検討・一部実施	
				指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				Webマップの活用促進(安全安心マップの応用版まで作成・活用)(校区)		0 (H25システム完成)	10	25	0
災害時要援護者避難支援計画策定地域の増加(自治会、町内会)		0	20 (覚書締結数)	50	19				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	③	南区	<p>まちづくりボランティアのNPO団体などと共働した大橋エリアの活性化</p> <p>市の南部広域拠点である大橋における地域・民間・行政が一体となった活性化を進めるため、大橋を中心に活動しているまちづくりボランティア団体(グリーンバード)の活動について、商店街、学生、コミュニティをはじめ、大橋に関係のある市職員(居住、乗り換え、南区役所勤務など)などにも参加を呼びかけ、地域の活性化に向けて人の輪、街づくり活動の幅の広がりを進めます。</p> <p>また、この活動を通じて、職員が市民の目線でまちを見て、市民とともに考え、目標達成に向けて行動する人材(市民と共働する行政のプロフェッショナルへの成長)へと成長することにつなげていきます。</p>	<p>■任意団体「みなみまちむすびプロジェクト(まちプロ)」を立ち上げました。(4月)</p> <p>■街そうじ(NPOグリーンバード主催:毎月第1、3、5水曜日・まちプロ:第2、4水曜日)実施しました。</p> <p>■打ち水大作戦を実施しました。(7月16日・28日は大橋駅西口広場で開催の祭り『楽しなおおはし』とのコラボ)</p> <p>■キャンドルナイトを開催しました。(12月20日楽しなおおはしにて)</p> <p>上記イベント等に際し、南区大学連絡会議や南区安全安心まちづくり協議会等へ参加協力を呼びかけ、南区内各大学へのポスターの掲示などにより、大学生の参加も増えてきています。</p>	<p>■街そうじ(NPOグリーンバード:毎月第1、3、5水曜日・まちプロ主催:第2、4水曜日)実施します。</p> <p>■打ち水大作戦</p> <p>■キャンドルナイト</p> <p>定期活動である街そうじのほか、25年度実施事業で好評であった打ち水・キャンドルナイトも引き続き実施予定です。</p>					
				実施スケジュール				25年度予定	25年度実績	
				まちづくりボランティア活動への市職員としての参加(清掃・あいさつ運動)				検討・実施	検討・実施	
				大学生、商店街、コミュニティへの参加働きかけと活性化推進				検討・実施	検討・実施	
						指標項目	現状値(24nd)	中間目標値(26nd)	最終目標値(28nd)	25年度実績値
						まちづくりボランティアへの市職員の年間の参加延べ人数(人)	—	480	720	280
						同活動への参加総数	—	720	1,440	460

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定				
1	③	早良区	<p>区民(市民)との共働による安全安心のまちづくり</p> <p>○ 地域の防犯・交通安全等をテーマに、市民・行政・警察が連携し、ワークショップ形式により地域の課題を考え、まち歩き等現地で課題の解決方法を具体化し、「まちづくり基本計画」を策定します。</p> <p>○ まちづくり基本計画に基づき、</p> <p>①道路等の維持管理に係る課題などは維持管理課で速やかに対応します。</p> <p>②カーブミラーや道路照明灯、通学路カラー化等、即効性のある交通安全施設の整備は1校区1千万円を限度にワークショップの翌年度に地域整備課で整備を行います。</p> <p>○ 災害時の要援護者対策や避難所の確保等、地域と行政の共働により防災の取組みを推進します。また、避難所になっている小学校までの案内表示を地域・関係機関との共働により整備していきます。</p> <p>○ 道路施設等の不具合・異常箇所に関する区民(市民)からの情報提供について、区民(市民)生活の安全確保、事故防止の観点から、原則、当日に現場立会や確認を行い、1週間以内での完了を目指します。(ただし、大規模工事は除きます。)</p>	<p>○ 飯倉・内野・曲淵校区において、平成24年度に策定した「まちづくり基本計画」に基づき、交通安全施設の整備を実施しました。</p> <p>○ 公募により選ばれた、飯倉中央・小田部校区において、ワークショップやまち歩きにより地域の課題を具体化し、「安全安心マップ」の作成並びに「まちづくり基本計画」を策定しました。</p> <p>○ 飯原・原西・四箇田校区において、避難所になっている小学校までの案内標示を地域・関係機関と連携し整備を行いました。</p>	<p>○ 飯倉中央・小田部校区において、平成25年度に策定した「まちづくり基本計画」に基づき、交通安全施設の整備を行います。</p> <p>○ 平成26年度の実施校区について公募を行い、ワークショップやまち歩きにより地域の課題を具体化し、「安全安心マップ」の作成並びに「まちづくり基本計画」を策定します。</p> <p>○ 平成26年度については、飯倉中央・小田部校区及び整備を希望する2校区を公募し、避難所になっている小学校までの案内標示の整備を実施します。</p>	実施スケジュール			
						25年度予定	25年度実績		
				ワークショップ(WS)の実施 まちづくり基本計画の策定		2校区 ※公募	2校区 ※公募		
				交通安全施設の整備		3校区(飯倉、内野、曲)	3校区(飯倉、内野、曲)		
				迅速な維持管理の対応		実施	実施		
				指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				地域の課題解決のための交通安全施設の整備を行った校区数(校区)		8	13	17	11

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定						
1	③	西区	市民との共働による区及び校区危機管理体制の充実・強化 各校区と行政が連携し、地域住民の安全を確保するための取り組みを推進します。 西区ではすべての校区に自主防災組織が設置されていますが、組織強化を支援することにより、安全で安心なまちづくりを推進します。全校区で策定済の安全安心マップについては、平成24年度より防災情報をより充実させながら、順次改定を推進していきます。	自主防災組織力を強化、充実するための研修会や講演会などを実施。また、地域が行う防災計画の見直しの支援や災害危険個所の点検指導などを行い、災害に強いまちづくりを推進します。	自主防災組織力を強化、充実するための研修会や講演会などを実施。また、地域が行う防災計画の見直しの支援や災害危険個所の点検指導などを行い、災害に強いまちづくりを推進します。						
					実施スケジュール		25年度予定	25年度実績			
				校区防災訓練の実施				実施	実施		
				総合防災訓練 防災危険箇所点検の実施				実施	実施		
				指標項目				現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				安全安心マップの改定校区数 (校区)(年度当初)				0	14	21	8

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況		26年度以降の取組予定			
1	③	西区	市民との共働による「西区の宝」磨き 西区全体を地域ごとの魅力(宝)を展示した「博物館」と位置づけ、区内の自然、歴史、文化、景観などの様々な有形・無形の地域資源や人的資源を区民が主体となって保存・育成・創出し、それらに回遊性を持たせることで区民自らの活用を促進するとともに、地域外にも魅力を発信していきます。	市民によるボランティア団体である「西区まるごと博物館推進会」が中心となり、学生ボランティア、関係団体等との協働、また企業等の協賛により、「西区の宝」を活かした多彩な事業を開催し、西区の魅力を発信しました。		引き続き、市民によるボランティア団体である「西区まるごと博物館推進会」が中心として、学生ボランティア、関係団体等との協働、また企業等の協賛により、「西区の宝」を活かした多彩な事業を開催し、西区の魅力を発信していきます。			
									実施スケジュール
				魅力発信事業の開催		企画・実施	企画・実施		
				「西区の宝」の認定		認定・広報	認定・広報		
				指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				魅力発信事業の開催数(件)(年度末)		18	19	21	20

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	③	西区	市民との共働による環境啓発活動の推進 地域に潜在する意欲的な人材を発掘・育成する「人材育成講座」を核に、講座修了生たちへの自主的な活動への支援、活動の発表・評価の場となる「西区環境フェスタ」を毎年共働で開催し、「市民と西区共働で環境啓発活動を行えるまち」を目指します。 修了生たちによる環境活動団体の共同体となる「環境たくみの会」が結成され、市民による市民のための環境啓発活動を展開中。所属している各団体(修了生による9団体と連携企業等3団体)は、バラエティに富んだ楽しい環境講座を地域へ提供することで、市民の環境に関する意識の向上はもちろん、地域の活性化へつなげていきます。環境啓発活動というものは、継続こそが力となるものなので、活動継続のために、修了生たちのモチベーション、充実度を重要視し、事業を推進していきます。	・人材育成講座の開催 平成25年10月～平成26年1月の7回開催し、平成25年度17名が受講しました。 ・環境活動団体への支援 「環境たくみの会」定例会に毎月出席し、活動の場の提供、補助金制度の活用などの情報提供、組織運営の指導助言を行いました。 ・西区環境フェスタの開催 環境に関心がある22団体が共催し、平成26年3月9日、さいとびあで開催しました。来場者数:延べ5,319名	・人材育成講座の開催 引き続き、7回開催します。 ・環境活動団体への支援 引き続き、支援を継続していきます。 ・西区環境フェスタの開催 25年度の取組に加え、環境問題に関心の深い企業等との連携を深めて開催します。					
				実施スケジュール			25年度予定	25年度実績		
				人材育成講座の開催			企画・実施	企画・実施		
				環境活動団体への支援			実施	実施		
				環境フェスタの開催			企画・実施・検証	企画・実施・検証		
				指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値	
				修了生等の充実度の向上(環境フェスタスタッフのやりがい度)		62%	65%	70%	72%	
				市民の環境意識の向上(環境フェスタ来場者の実践したい環境行動の数)(個)		2.09	2.50	3.00	3.25	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定				
1	③	消防局	小中学校における救命講習 福岡市の小・中学生を対象とした救命講習を実施し、受講者の裾野を広げるとともに、教職員への応急手当指導者講習を実施し、自学自習の救命教育を促します。 講習終了後は修了証、認定証を交付するとともに、アンケートを実施し講習会に反映させていきます。 (実施内容) ・小学5年生を対象とした救命入門コース(90分)を実施 ・中学2年生を対象とした普通救命コース(180分)を実施 ・小中学校の教職員を対象とした応急手当指導者講習の実施	1 小学5年生を対象とした救命入門コース 小学校で7回(児童645名参加)実施 2 中学2年生を対象とした普通救命コース 中学校で7回(生徒1,152名参加)実施 3 小中学校の教職員を対象とした応急手当指導者講習 教職員16名に対し応急手当指導者講習を実施	1 小学5年生を対象とした救命入門コース 小学校21校以上で実施予定 2 中学2年生を対象とした普通救命コース 中学校14校以上で実施予定 3 小中学校の教職員を対象とした応急手当指導者講習 50名程度の指導者の養成を行い、平成28年には、小・中学校に1名以上の指導者を配置予定				
				実施スケジュール				25年度予定	25年度実績
				小中学校における救命講習				実施	実施
				教職員を対象とした応急手当指導者講習				実施	実施
				指標項目		現状値 (25nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				小中学校での救命講習(実施校数)					
				・平成25年度:各区1校(モデル校)	小学校	7	21	73	7校
・平成28年度:市内半数の小中学校での実施を目標とする	中学校	7	14	35	7校				
教職員を対象とした応急手当指導者講習		50	100	200	16名				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況		26年度以降の取組予定		
1	③	消防局	市民との共働による災害に強い地域づくり 地域住民の方々が実施する防火・防災訓練等での指導や、ホームページ・メディアなどを活用した減災等の情報発信を強化し、安全で安心して暮らせる災害に強い地域づくりに共働で取り組みます。	地域を主体とする全自主防災組織(149校区・地区)での指導と、あわせて事業所等が実施する防火・防災訓練等での指導を計476回実施しました。 また、様々なマスメディアを通し、35回の広報・啓発を実施しました。		今後もマスメディアを通して、定期的に火災予防広報・啓発を実施していくとともに、高齢者に起こりうる火災に特化した内容の啓発チラシを作成配布し、高齢者向けの火災予防啓発を強化します。 また、引き続き、全自主防災組織(149校区・地区)の防災指導等の支援を行います。		
				地域ニーズに応じた「災害に強い地域づくり講座」の実施		実施	実施	
				ホームページ・メディアなどを活用した情報発信の強化		実施	実施	
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	25年度実績値
				災害に強い地域づくり講座の全校区での実施	88.6%	100%	100%	100%
				指標項目	現状値 (24年)	中間目標値 (26年)	最終目標値 (28年)	25年実績値
				火災件数(件)	337	320	300	325

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定					
1	③	水道局	水源林ボランティアとの共働	水道局と水源林ボランティアの共働により、水源かん養林の保全活動をはじめ、市民に水源かん養林の大切さや水源地域への理解を広めるための各種イベント時における広報活動、水源地域との交流活動、市民が参加できる水源かん養林保全活動体験、除伐竹材の有効利用などを実施しました。	水道局と水源林ボランティアの共働により、水源かん養林の保全活動をはじめ、市民に水源かん養林の大切さや水源地域への理解を広めるための各種イベント時における広報活動、水源地域との交流活動、市民が参加できる水源かん養林保全活動体験、除伐竹材の有効利用などを実施します。 今年度も引き続き、活動の継続、および、目標値のボランティア参加者延べ人数の確保を目指します。					
			水源かん養林の保全活動に必要な知識・技術などを修得した水源林ボランティア(市民ボランティア)と共働して、水源かん養林の保全活動を行うとともに、市民に水源かん養林の大切さや水源地域への理解を広めるため、本市が行う各種イベント時における広報活動や市民が参加する水源かん養林保全活動の体験事業の実施、さらに、地元の協力を得ながら、保全活動において除伐した竹材を有効利用(竹炭製作等)する取り組みなどを行います。							
			実施スケジュール					25年度予定	25年度実績	
			水源林ボランティアとの共働による水源林保全活動・広報活動					実施	実施	
			指標項目					現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)
水源かん養林保全活動等へのボランティア参加者延べ人数(人)	400	420	440	478						

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	25年度の実施状況	26年度以降の取組予定				
1	③	教育委員会	学校の安全体制の整備	<p>○地域ぐるみの学校安全対策整備事業 スクールガード・リーダーによる学校巡回指導と評価を各学校2回実施しました。 スクールガード・リーダー連絡会で情報共有を行い、次年度に行う取り組みを決定しました。 スクールガード・リーダーによる安全教室、防犯教室を実施しました。 スクールガード養成講習会で、通学路や安全対策についての講話や実践報告を実施しました。 小学校1年生の児童に対して防犯ブザーの配布を行いました。</p>	○地域ぐるみの学校安全対策整備事業 スクールガード・リーダーによる学校巡回指導と評価を各学校2回実施 スクールガード・リーダーによる安全教室、防犯教室の実施(25校) スクールガード養成講習会の開催による、スクールガードの養成 ○警察、道路管理者、学校における通学路の合同点検の実施 ○各学校における危機管理マニュアル、安全マップの見直し ○小学校1年生の児童に対して防犯ブザーの配布				
			子ども達の登下校時の安全確保を図るため、学校と地域諸団体、関係機関との連携により、地域ぐるみで学校の安全を守る取り組みを行います。		25年度予定	25年度実績			
			【取り組み内容】 ○各学校におけるスクールガードの組織設立 地域から学校安全ボランティア(スクールガード)を募り、登下校時などに子ども達の見守り活動を実施します。 ○スクールガード養成講習会の開催 学校で巡回・警備等に従事するスクールガードを養成するための講習会を開催します。 ○スクールガード・リーダーによる学校巡回指導と評価及び防犯・安全教室の実施 警備会社等の防犯の専門家をスクールガード・リーダー(地域学校安全指導員)として委嘱し、教職員やスクールガードの指導や専門的視点からの安全点検等を実施するために定期的に学校を巡回し、学校安全に関する指導と評価を行います。また、保護者や地域の方の参画、協働による取組として防犯・安全教室を実施します。		スクールガード・リーダーによる学校巡回と評価	実施	実施		
					各学校における防犯・安全教室の実施	実施	実施		
					中学校ブロックにおけるスクールガード連絡会の実施	検討・試行	検討		
					指標項目	現状値(24nd)	中間目標値(26nd)	最終目標値(28nd)	25年度実績値
					スクールガードの組織率(組織数/学校数)	82.5%	95%	100%	84.5%
	スクールガード養成講習会(年2回)の参加者数(人)	548	600	700	543				